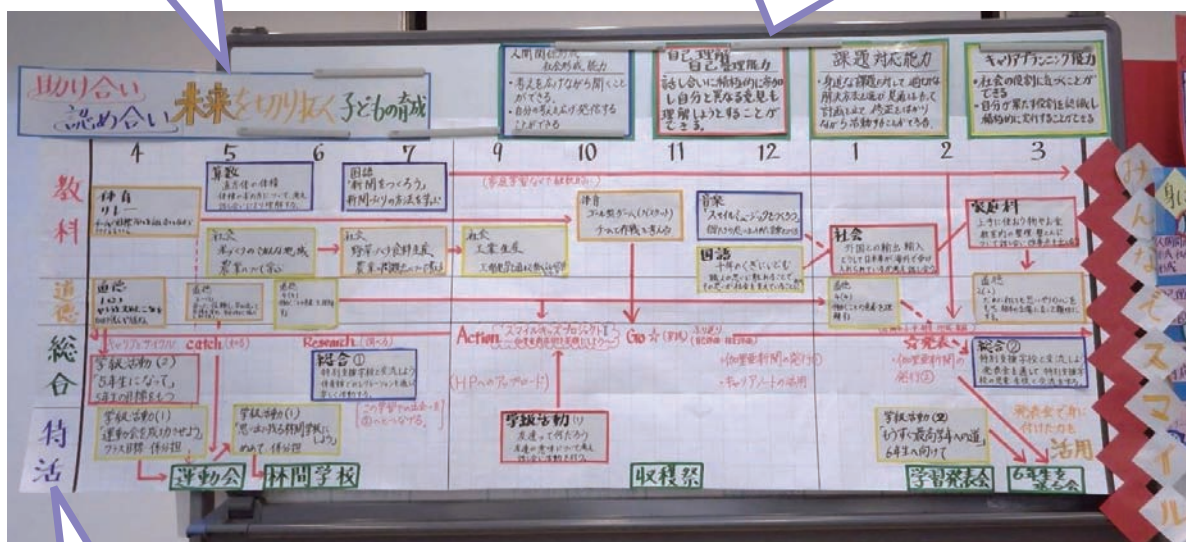


小・中学校のキャリア教育年間指導計画例

ひとりではなく、チームで取り組むことが大切です。また、職員室に掲示することで、全教職員が日頃からキャリア教育を意識することができます。

主 題

身に付けさせたい力



チームで作成した年間指導計画例

教科 道徳
総合 特活

※「身に付けさせたい力」で横断的につなぐ

今あるものを「キャリア教育の視点で捉え直す」ことで、児童生徒に身に付けさせたい力の系統を可視化することができ、全教職員が意識して取り組むことができます。

〈重点化・焦点化〉キャリア教育カレンダー

①洗い出す

全体計画で設定した「キャリア教育で児童生徒に身に付けさせたい力」と特に関連の深い内容を、既存の年間指導計画から洗い出します。(力に応じて色分けしてチェックします。)

②つなぐ(重点化) → しぼる(焦点化)

同じ力(同じ色)をつなぎ合わせ、焦点をしぼることで、身に付けさせたい力育成のつながりを意識化します。小学校では学級担任が複数の教科等を担当する強みを生かし、中学校では教員間の連携をはかり、重点化・焦点化して取り組むことで、児童生徒のキャリア発達を促します。